

秋田米フォーラム2021

12月8日(水)、県内関係者の意識を統一して品質の高い秋田米の生産やブランドの強化を促進させるため、「秋田米フォーラム2021」が秋田キャッスルホテルで開かれました。JA全農あきたと京急、県立大曲農業高校との連携事業の事例発表や、今年産米の栽培経過や土づくり、食味向上対策に関する講演などが行われました。

「美味しいッあきたこまち」コンテストの結果発表も行われ、全県から出品された83点のうち、当JA管内から秋田市雄和の伊藤稜さんが優良賞(全農秋田県本部県本部長賞)を受賞しました。伊藤さんは、優秀賞に輝いた平成30年度に次ぐ2回目の受賞です。



表彰状を受け取る伊藤さん

(株)大潟村CE公社利用者意見交換会

12月10日(金)、(株)大潟村カントリーエレベーター公社の山平雅士業務課長を来賓に迎え、利用者の方々の意見交換会が若美支店で開催されました。

当JAの吉田朋志常務から実績などが報告されたほか、その後の質疑応答では生産者の方々から多様な意見が上がり、当JAや山平業務課長が現状や今後の課題などを回答しました。

意見交換会に先がけて実施したアンケートでは、「待機時間が短縮された」「距離が近くなった」などといった意見を利用者からいただきました。来年度も引き続き、事業間連携を深めていきたいと考えています。



今年度から事業間連携を行っている(株)大潟村CE公社

NEWS & TOPICS

和梨が昨年度に続いて高単価

12月13日(月)、果樹部会男鹿支部の和梨共販実績検討会が男鹿地区営農センターで行われました。生産者ら約50名が今年度の販売実績を確認したほか、凍霜害や病害虫の対策を学びました。

今年度は7品種3万2384ケースが出荷され、販売額は1億3732万円に上りました。管内外での天候不順による品薄傾向が影響して、平均単価は過去10年間のうち昨年度に続いて2番目に高い4241円を記録しました。

管内で主力の「幸水」「豊水」の出荷実績が優れた生産者の表彰も行われ、男鹿地区の藤原大将さんと天王地区の三浦一利さんに表彰状が贈られました。



表彰を受ける生産者

特殊詐欺防止などを臨港署・市臨港防犯協会

12月15日(水)、特殊詐欺被害の防止や交通安全を啓発する運動が、年金支給日に合わせて飯島支店で行われました。

秋田臨港警察署の署員や秋田市臨港防犯協会の会員が、同支店の窓口やATMを利用して訪れた人々に「だまされま煎茶」「特殊詐欺封じ(ほうじ)茶」と書かれたティーバッグや「反射材をつけようかん」と名付けた羊羹、反射材キーホルダーなどを手渡しして、注意を呼び掛けました。会員らは来店者に「電話などでお金のお話をされたら気を付けてください」「お茶と羊羹でひと休みしながら、詐欺や交通安全について考えてみてください」などと話しました。



来店者に詐欺や交通安全への注意を呼び掛ける会員ら

